

株式会社白石倉庫



代表取締役社長
太宰 榮一氏

●企業の概要

企業名：株式会社白石倉庫
代表者：代表取締役社長 太宰 榮一
住所：白石市福岡深谷字佐久来5番地32
設立年：明治33年
業種：倉庫、総合物流業
資本金：30百万円
従業員数：35名

●事業の概要

明治33年設立の倉庫会社。仙南地域の農産物の保管倉庫として誕生し、その後時代に合わせた顧客ニーズに対応、充実した倉庫網と地域に根差したきめ細やかな総合物流サービスを提供。県内最多の11拠点の営業倉庫を展開。

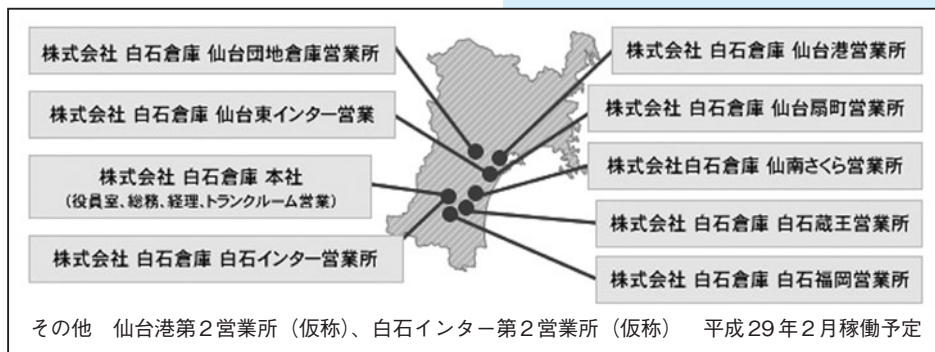


本社



荷積み作業風景

長年にわたり地域に密着した真面目できめ細やかな物流サービスを提供し、農業など地域産業を支えるインフラ企業



物流ネットワーク



仙台港営業所



BOXフレコン

●受賞の理由

東北で初の株式会社形態の倉庫会社として設立。当時日本の主力産業であった生糸や輸出米の検査・保管倉庫として誕生し、鉄道に接続する県南地域の鉄道系インフラとして輸出を支え、日本の近代化に貢献。その後も地域の農産物の物流拠点であり、戦後の復興期や高度経済成長期には時代の要請に応えその都度建築資材や工業原料、精密電子機器等取扱品目を拡大し、地域の経済発展を支えてきた貢献は極めて大きい。

昭和40年代以降、東北自動車道の整備等に伴い拡大する地域の物流ニーズに応えるため、県内に倉庫を増設し、現在では営業倉庫拠点は県内最多の11拠点の物流ネットワークを構築した。近年の企業の海外展開等に伴う物流のグローバル化においても、大手物流企業の弱点である地域のすみずみまでわたる末端物流をカバーし、長年にわたり地域の物流に重要な役割を担う。

倉庫取扱品目の中心である米、大豆、麦、ソラマメ等の地域特産の多様な農産物においては、県内最大規模の4万トンを超える低温（10℃以上常温以下の一定温度）保管収容力を有し、当社の保管品質は高く評価されている。また、保管に付帯して提供する集荷、検査、入庫、保管、出庫、配送の一貫サービスはきめ細やかと定評である。中でも経済産業省の農商工連携等による被災地等復興支援事業で、農産物に混入する異物や不良品を自動峻別する「農産物のデジタル式色彩選別業務」や「放射線測定業務」等は地域ニーズに的確に対応したサービスとの評価が高い。

東日本大震災時には、自社倉庫で甚大な被害を被るなかいち早く復旧に努め被災地に物流サービスを提供し、さらに震災後は、自社の経験を踏まえ、災害に強く荷崩れしにくい梱包資材「BOXフレコン」の開発や同業他社との防災無線ネットワークによる緊急相互支援体制整備を行う等、取り組みは高く評価できる。

長年にわたり地域に密着した真面目できめ細やかな物流サービスの提供により、農業をはじめとする地域産業を支えるインフラ企業としての貢献は極めて大きく、今後も地域とともに着実な成長が期待される企業である。